

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 株式会社 あじかん

上場取引所 東 大

コード番号 2907 URL <http://www.ahjikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足利 政春

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務推進本部長 兼 経営管理部長 (氏名) 樋口 研治

TEL 082-277-7010

四半期報告書提出予定日 平成22年2月9日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	25,146	△2.8	1,004	519.9	915	—	500	—
21年3月期第3四半期	25,868	—	162	—	21	—	△64	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	65.71	—
21年3月期第3四半期	△8.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	17,330	8,240	47.5	1,081.77
21年3月期	15,638	7,816	50.0	1,026.03

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,240百万円 21年3月期 7,816百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				12.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,800	△2.8	1,060	254.2	940	237.2	500	470.6	65.64

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 7,700,000株 21年3月期 7,700,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 82,684株 21年3月期 81,584株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 7,617,658株 21年3月期第3四半期 7,662,184株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）におけるわが国経済は、景気は持ち直してきているものの、緩やかなデフレ状況や雇用情勢の厳しさ、おおむね横ばいとなっている消費者マインドなど、企業の業況判断は依然として厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、景気の低迷に伴い、消費者の低価格志向が一段と強まってくる一方で、食の安全性に対する要求も重なり、各社の販売・価格競争が一段と激しさを増す厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第八次中期経営計画に基づき、「自社ブランド品の拡充」「営業基盤の拡充」「社内サプライ・チェーン・マネジメントの確立」「コストダウンの推進」「あじかんブランド品質の向上」などの重点課題に取り組んでおります。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は新製品の投入などにより、自社製品については、味付品や自社企画ブランド品を中心に拡販できたものの、景気の低迷に伴う販売・価格競争の激化や需要の後退の影響で、玉子製品や魚肉すり身製品の売上が減少いたしました。また、冷凍・冷蔵食品を中心とした仕入商品の売上也前年同期を下回るなど、売上高全体では25,146百万円（前年同期比2.8%減少）となりました。

一方、損益面につきましては、前連結会計年度で大きなコスト増をもたらした鶏卵価格や魚肉すり身価格の高騰、原油価格の高騰などによる影響が、需給の関係等で若干緩和されてきていることや歩留まりの向上による生産ロスの低減、製造経費・販売管理費面で大幅なコスト抑制を行った結果、営業利益は1,004百万円（前年同期比519.9%増加）となりました。これに、円高の影響によるデリバティブ時価評価損などを加えた経常利益は915百万円（前年同期は経常利益21百万円）となり、四半期純利益は500百万円（前年同期は四半期純損失64百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,692百万円増加し17,330百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,828百万円増加し9,602百万円となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の増加1,839百万円、原材料の調達などによるたな卸資産全体での増加162百万円、現金及び預金の減少216百万円などです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ136百万円減少し7,727百万円となりました。これは、投資有価証券の時価評価などによる増加要因もありましたが、減価償却の進行を上回る規模での投資を抑制したことによりです。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,268百万円増加し9,090百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,523百万円増加し7,716百万円となりました。主な増減要因は、原材料の備蓄および仕入の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加1,296百万円、短期借入金の返済による減少250百万円などです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ255百万円減少し1,374百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の約定返済による減少150百万円、リース債務の減少80百万円などです。

なお、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ400百万円減少し3,125百万円となっております。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ423百万円増加し8,240百万円となりました。主な増加要因は、四半期純利益の計上500百万円および評価・換算差額等の増加15百万円です。一方減少要因は、配当金の支払による減少91百万円などです。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5ポイント低下し、47.5%となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ216百万円減少し1,229百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は759百万円（前年同期は943百万円の使用）となりました。主な増加要因は、税

金等調整前四半期純利益897百万円や減価償却費468百万円などであります。一方、減少要因としては、売上債権・たな卸資産・仕入債務合計の運転資金面での減少713百万円や法人税等の支払による219百万円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は287百万円（前年同期比4.2%減少）となりました。これは主に、生産設備の増強投資やメンテナンス投資、投資有価証券の取得などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は688百万円（前年同期は519百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の返済200百万円や長期借入金の約定返済250百万円、リース債務の返済163百万円、配当金の支払91百万円などであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表いたしました平成22年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、修正しております。

詳細は、平成22年2月8日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,239,343	1,455,783
受取手形及び売掛金	※3 5,626,584	※3 3,787,257
商品及び製品	1,701,634	1,573,173
仕掛品	1,705	5,012
原材料及び貯蔵品	765,340	728,183
繰延税金資産	140,923	135,060
その他	168,404	118,521
貸倒引当金	△41,130	△28,533
流動資産合計	9,602,806	7,774,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,688,307	1,752,973
機械装置及び運搬具（純額）	896,144	947,413
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産（純額）	24,352	14,072
その他（純額）	242,354	227,056
有形固定資産合計	※1 5,808,455	※1 5,898,811
無形固定資産		
リース資産	27,823	25,625
ソフトウェア	414,396	542,972
ソフトウェア仮勘定	26,334	2,958
その他	27,721	39,133
無形固定資産合計	496,275	610,690
投資その他の資産		
投資有価証券	490,448	427,027
繰延税金資産	110,612	133,415
その他	879,186	853,133
貸倒引当金	△57,390	△59,270
投資その他の資産合計	1,422,857	1,354,307
固定資産合計	7,727,588	7,863,809
資産合計	17,330,394	15,638,269

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 3,576,928	※3 2,280,448
短期借入金	2,380,000	2,630,000
未払法人税等	291,722	115,915
賞与引当金	154,000	229,000
役員賞与引当金	12,634	11,409
リース債務	189,350	210,089
その他	1,111,552	715,635
流動負債合計	7,716,189	6,192,498
固定負債		
長期借入金	745,000	895,000
退職給付引当金	150,674	185,410
役員退職慰労引当金	272,033	261,678
リース債務	206,304	286,947
固定負債合計	1,374,012	1,629,036
負債合計	9,090,202	7,821,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,171,013	5,761,902
自己株式	△59,422	△58,582
株主資本合計	8,312,830	7,904,560
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62	△12,561
繰延ヘッジ損益	—	△4,762
為替換算調整勘定	△72,701	△70,502
評価・換算差額等合計	△72,638	△87,825
純資産合計	8,240,192	7,816,734
負債純資産合計	17,330,394	15,638,269

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	25,868,446	25,146,466
売上原価	20,269,844	18,769,155
売上総利益	5,598,602	6,377,311
販売費及び一般管理費	※1 5,436,506	※1 5,372,513
営業利益	162,095	1,004,798
営業外収益		
受取利息	2,924	1,705
受取配当金	9,857	6,666
持分法による投資利益	—	20,224
その他	19,406	13,170
営業外収益合計	32,188	41,766
営業外費用		
支払利息	44,042	38,635
為替差損	29,416	36,069
通貨スワップ評価損	67,998	38,168
長期為替予約評価損	17,464	17,396
持分法による投資損失	13,349	—
その他	401	1,240
営業外費用合計	172,673	131,511
経常利益	21,611	915,053
特別利益		
受取補償金	※2 —	※2 31,137
投資有価証券売却益	4,984	—
特別利益合計	4,984	31,137
特別損失		
固定資産除却損	3,805	3,650
たな卸資産評価損	33,621	—
投資有価証券売却損	44	27
投資有価証券評価損	4,949	4,130
災害による損失	※3 —	※3 37,311
貸倒引当金繰入額	—	3,700
特別損失合計	42,421	48,821
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,825	897,370
法人税、住民税及び事業税	42,674	392,039
法人税等調整額	6,334	4,799
法人税等合計	49,008	396,838
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64,834	500,531

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,825	897,370
減価償却費	465,265	468,415
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,000	△75,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△229	1,225
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,545	10,354
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△35,335	△34,735
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32,083	10,717
持分法による投資損益(△は益)	13,349	△20,224
受取利息及び受取配当金	△12,782	△8,371
支払利息	44,042	38,635
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,940	27
通貨スワップ評価損益(△は益)	67,998	38,168
有形固定資産除却損	3,805	3,650
投資有価証券評価損益(△は益)	4,949	4,130
売上債権の増減額(△は増加)	△1,804,892	△1,843,685
たな卸資産の増減額(△は増加)	△906,894	△166,676
仕入債務の増減額(△は減少)	1,357,860	1,296,554
未収入金の増減額(△は増加)	222	△9,992
未払金の増減額(△は減少)	70,282	125,381
未払消費税等の増減額(△は減少)	△48,596	91,564
その他	△32,163	151,328
小計	△825,254	978,838
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△118,531	△219,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	△943,785	759,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6,197	△46,061
投資有価証券の売却による収入	12,008	71
有形固定資産の取得による支出	△300,868	△235,059
有形固定資産の売却による収入	3,512	228
利息及び配当金の受取額	12,780	8,378
その他	△21,405	△14,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△300,170	△287,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	700,000	△200,000
長期借入れによる収入	300,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△155,000	△250,000
利息の支払額	△41,739	△32,017
リース債務の返済による支出	△142,574	△163,759
自己株式の取得による支出	△50,133	△839
自己株式の売却による収入	800	—
配当金の支払額	△92,295	△91,411
財務活動によるキャッシュ・フロー	519,058	△688,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,279	△367
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△727,177	△216,439
現金及び現金同等物の期首残高	1,385,481	1,445,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 658,303	※ 1,229,343

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社企業集団は、食料品の製造及び販売を主な事業としており、一セグメントの売上高及び営業利益の金額がいずれも合計額の90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社企業集団は、食料品の製造及び販売を主な事業としており、一セグメントの売上高及び営業利益の金額がいずれも合計額の90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額 8,923,772千円</p> <p>2. 偶発債務 連結子会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり債務保証を行っております。 愛康食品(青島)有限公司 67,454千円 合計 67,454</p> <p>※3. 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。 なお、当四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が当四半期連結会計期間末残高に含まれております。 受取手形 11,012千円 支払手形 242,941</p>	<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額 8,698,266千円</p> <p>2. 偶発債務 連結子会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり債務保証を行っております。 愛康食品(青島)有限公司 71,424千円 合計 71,424</p> <p>※3. _____</p>

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 給料手当 1,207,694千円 賞与引当金繰入額 96,000 役員賞与引当金繰入額 11,359 退職給付費用 100,630 役員退職慰労引当金繰入額 10,365 貸倒引当金繰入額 57,106 荷造運賃 1,311,323</p> <p>※2. _____</p> <p>※3. _____</p>	<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 給料手当 1,194,164千円 賞与引当金繰入額 100,000 役員賞与引当金繰入額 11,181 退職給付費用 101,059 役員退職慰労引当金繰入額 10,354 貸倒引当金繰入額 26,620 荷造運賃 1,270,185</p> <p>※2. 受取補償金 子会社である山東安吉丸有限公司において、青州市の道路拡張等のため建物等を取り壊し、市等より補償金を受領しております。受領金額より、固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。</p> <p>※3. 災害による損失 当社静岡工場における地震被害による建物、機械装置等の修復費用を特別損失として計上しております。</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) 現金及び預金勘定 668,303千円 預金期間が3ヵ月を超える定期 10,000 預金 <u>△10,000</u> 現金及び現金同等物 658,303	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) 現金及び預金勘定 1,239,343千円 預金期間が3ヵ月を超える定期 10,000 預金 <u>△10,000</u> 現金及び現金同等物 1,229,343